

生活経済専攻

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本専攻では、以下の能力と資質を有する者を受け入れる。

- AP1 経済学、家政学、政策科学あるいはその複合領域における大学学部で修得する知識を
発展させ、生活問題の解明に取り組むことができる人。
- AP2 家庭、地域、企業、社会での経験を活かし、理論的アプローチを学ぶことで、理論と
経験を結びつけることができる人。
- AP3 生活問題の原因・背景とその結果や影響を、社会との関係で構造的に考えることがで
きる人。
- AP4 生活をとりにくく現代社会の諸問題と政策課題を追究することができる人。
- AP5 生活に関わる課題とその解決を、広い視野で学ぶ意欲のある人。
- AP6 家庭、地域、企業、社会における経験を通して、現代社会の課題を発見し、その解決
方法を考察できる人。
- AP7 生活に関わる問題解決のための研究を志す人。
- AP8 論理的に物事を説明したり、記述したりする努力ができる人。
- AP9 市民活動・消費生活・職業生活に関連した知識を問題解決的に活かすスキルアップを
目指す人。
- AP10 専門知識を広い視点で深く伝えられる教員を目指す人。

本専攻は、社会人にも広く門戸を開いている。上記 AP1～AP4 は筆記試験によって、
AP5～AP10 は口述試験及び提出書類によって評価する。